

○浦野委員 おはようございます。日本維新の会の浦野靖人です。本日は、よろしく願いいたします。

きょうも、法案提出者として山井さんに来ていただいています。外で記者が、野党が欠席する中、山井さんだけが来ているので、何があるんですか、何があるんですかといってわざわざしていましたけれども、答弁だけちゃんとしていただけるということで、ありがとうございます。

この間の質問のときに、山井さんの方に、我が党に法案の説明に来ていただいているので、しっかりと来てください、足立康史委員に言ってくださいということをお願いをいたしましたら、月曜日に早速説明に行っていたということ、ありがとうございました。

足立さんも山井さんと、何か聞くところによると、非常にフレンドリーに話をされたということで、法案の内容についても、足立さんのフェイスブックにもありましたけれども、我が党としても前向きに検討すべき項目があるんじゃないかということで、我が党としては、しっかりとその辺も含めて俎上にのせていこうということで、足立さんと今お話をさせていただいております。

まずは、きょう、こういった形の委員会ですけれども、しっかりと対応していただいたお礼ということで、ありがとうございました。

この法案について、この法案についてだけです、そのほかのことは発言せぬようにしていただいて、受けとめをお願いしたいと思います。

○山井議員 浦野委員、御質問ありがとうございます。

先日、浦野委員から御指摘をいただきまして、昨日、足立委員のところに御説明に行かせていただきました。御説明にお伺いするのが遅くなったことをおわびしながら説明をさせていただきました。

足立委員の反応は、全てではないけれども、私たちの子供生活底上げ法案について、よい面もある、賛同できる部分もあるということをおっしゃっておられました。

子供の貧困対策には与野党ありませんから、ぜひとも維新の会にもこの法案に賛成をしていただきたいですし、維新の会のみならず与党の方々にも賛成いただいて、もちろん、この法案、一〇〇%賛成でないかもしれませんが、賛成できる部分が多々あれば、多くあれば賛成していただいて、成立をさせていただければと思っております。そうすれば、本当に貧困家庭の子供たち、またその御家族の皆さんも大喜びをされると思いますので、私からも改めて切にお願い申し上げます。

○浦野委員 これは、自民党さんとか公明党さんに説明に行っているんですか。

○山井議員 いや、説明には行っておりません。

○浦野委員 それは各党で対応されることだと思うので、もう言いませんけれども、しっかりとした議論をしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

僕の質問は、もう山井さんはこれで、ありがとうございました。